

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
子どもの保健 I A	講義	2	黒瀬 久美子
<b>【授業のテーマ及び到達目標】</b> 子どもの命を脅かさないための基本理論と知識を身につけることを目的に以下の目標達成を目指す。 到達目標 ①人間のライフサイクルと健康を考えることができる。②子どもの位置付けと成長発達の意味と健康を理解できる。③子どもの発達段階をしっかりとイメージできる。			
<b>【授業の概要】</b> 人間の発達段階には「子ども期」という時期がある。本科目では「なぜ子ども期があるのか」について学ぶと共に子どもの命を脅かさない基本的な知識ととらえ方・考え方・行動を理解し習得していく。			
<b>【全体の授業計画・内容】</b>			
1. 人のライフサイクルと健康			
2. 子どもの健康と保健の指標			
3. リプロダクティブヘルス・ライツの概念			
4. 胎児期の成長発達			
5. 子ども期前半の成長発達①人と共に生きる基盤			
6. 子ども期前半の成長発達②食事・排泄・睡眠・清潔・運動の意義			
7. 子ども期後半の成長発達			
8. 身体発育と保健			
9. 生理機能の発達と保健① 呼吸・体温・循環・血液の発達			
10. 生理機能の発達と保健② 消化吸収・排泄・睡眠の発達			
11. 脳神経系と運動機能の発達			
12. 脳神経系と感覚機能の発達			
13. 歯の発達と保健			
14. しょうがいのある子どもへの支援			
15. 試験及びまとめ			
<b>【準備学習の内容】</b>			
予習のあり方: 常日頃から子どもに関心を持ち、観察する習慣をつけること。			
学習のあり方: テキストを毎回持参し、聞き取る・読み取る・書き取る実践トレーニングをしていくこと。			
復習のあり方: 授業内容を振り返り、疑問点の有無を確認しまとめておくこと。			
<b>【成績評価】</b> 筆記試験 70% 提出物・学習シート 30% 授業中の私語等迷惑行為は減点対象とする。			
<b>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</b> 授業の振り返り及び枠内にポイントを記載するトレーニングのために、授業終了後毎回学習シートを提出し、内容確認後次回に返却する。(必要に応じてコメントを入れる。質問・疑問は授業時に解説する。)			
<b>【テキスト】</b> 1、高田正子編著「心とからだを育む子どもの保健 I」教育情報出版 2、黒瀬久美子著「うちの子って変？子どものつぶやきからはじまる親子性教育」明治図書			
<b>【参考文献】</b> 「新保育所保育指針・幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」			